

研究・調査報告書

報告書番号	担当
338	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
<p>Implications of co-occurring alcohol abuse for role impairment, health problems, treatment seeking, and early course of alcohol dependence. 自らの役割喪失、健康問題、治療意欲、アルコール依存初期過程と、同時におこるアルコール依存との関連について</p>	
執筆者	
Mojtabai R, Singh P.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Am J Addict. 2007 Jul-Aug;16(4):300-9.	
キーワード	
アルコール依存、アルコール中毒、障害、診断カテゴリー	
要 旨	
<p>目的： アルコール中毒とアルコール依存症の疾病分類学的、臨床的関連について探索し、DSM-IVにおけるこれらの診断カテゴリーの間の分類体系的関連について検討する。</p> <p>方法： 2003年アメリカの国レベルでの薬物使用と健康に関する調査 (US National Survey on Drug Use and Health) の参加者を対象に調査を行った。</p> <p>結果： 2307人のアルコール依存者のうち、68.1%にあたる1646人がアルコール中毒の範疇に合致した。多変量解析において、アルコール中毒にあたるアルコール依存者は、アルコール中毒にはあたらぬアルコール依存者に比べて最初にアルコールを口にする年齢が若く、より高い率で健康問題を抱えており、アルコール以外の薬物を使用し、障害を有し、治療意欲があり、早期に回復する率が高かった。アルコール中毒であるか、そうでないかというこの2群の間では症状のプロフィールが異なっていた。</p> <p>結論： アルコール依存の中でも、中毒であるものとならないものとの間には上記のような違いがあることから、今後DSMを改訂する際には、この違いをとらえられるようなものが提案されるべきである。</p>	